

厚生委員会

市の環境福祉部、こども保健部及びクリーンセンター建設事務所の所管に属する事項に対応する委員会です。

◎津本辰己 ○近藤吉一郎
秋久憲司 川端恵美子 末永弘之
松本義隆 山田 誠

厚生委員会に付託された議案7件、請願1件を審査した。

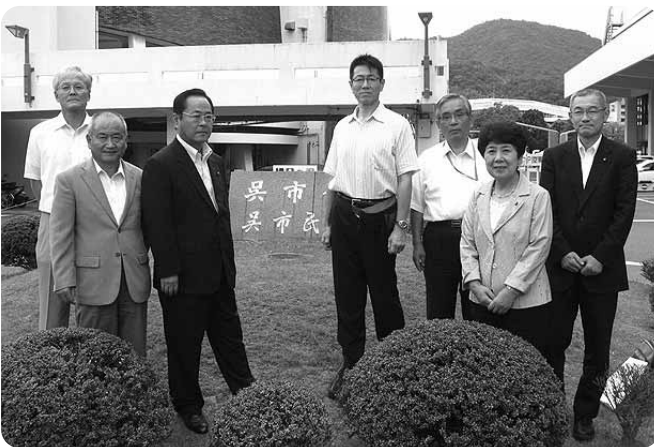
議案第56号のうち関係する項目の審査と議案第84号の審査では、一部委員から、両議案は土地開発公社の整理に関連するため、反対意見があり賛成多数で可決に、残りの議案については、審査の結果、いずれも全員一致で原案のとおり可決とした。

「介護職員処遇改善加算の継続、拡充等を求める請願」の審査では、請願の趣旨に賛同し、採択とした。

なお、今回の委員会では、し尿処理の問題等について、当局から最終報告がなされた。

当局はこれまで該当業者や元従業員に対する調査を実施、その成果を専門家などに照会し、問題の検証を行ってきた。し尿処理の水増し請求については、元従業員の証言や提供された資料では、不正事実の有無を証明する証拠能力に不十分な状況であった。許可区域外のごみ収集については、条件違反が認められたため、行政指導を行った。し尿や下水汚泥の不法投棄については、調査の結果、不正な事実が認められなかったとの報告であった。

今回の問題を受け、当局の今後の対処については、一般廃棄物処理の高い公共性を鑑み、許可業者には一層の法令順守を求める指導体制の強化等を行い、廃棄物行政に対する信頼向上を図りたいとのことであった。



視察日程

平成24年7月19日(木)
～20日(金)

場所と目的

- 広島県呉市
- 国保医療費削減に向けた取り組みについて
- 愛媛県松山市
- ごみ減量に向けた取り組みについて
- 松山サンシャインプロジェクトについて

呉市では、市民の医療費負担の軽減と、国民健康保険制度を持続可能なものとしていくために、独自に作成した市民のレセプトのデータベースを活用して、保健事業の積極的な推進と「後発医薬品差額通知」や「重複・頻回受診者に対する訪問指導」など、医療費の適正化に関する様々な事業を展開していた。現在の問題としてとらえるだけではなく、10年先、20年先のビジョンを持った施策であった。松山市では、住民との協働によって継続的なごみの減量化に成功しており、地道で粘り強い啓発活動や、住民に対するごみ減量への継続的な意識づけが何より重要だと感じる事ができた。また、同市では、太陽光を中心とした再生可能エネルギーの活用で「脱温暖化と産業創出」を目的に、企業・大学・NPO・行政などが持続可能な低炭素社会の構築を目指して連携している。環境部門と産業部門がそれぞれの役割を定め、環境に関する最新情報等の共有や情報交換を行うことで、地域が一体となった事業を推進していた。

◎ 政治家が選挙区内にある者に対して、寄付をすることはいかなる名義でも禁止されています。